

12月19日（金） 2年次 探究活動の中間発表会



本日、「総合的な探究の時間」と「理数探究」の中間発表会を実施し、各ゼミを代表する計16班が発表を行いました。

総合的な探究の時間では、テーマ設定、先行研究の調査、フィールドワークの企画や検証など、これまでの探究の過程や学びの蓄積、今後の展望や課題について、ポスターやスライドにまとめて発表しました。一方、理数探究では、各ゼミの専門性を生かし、さまざまな実験を通して得られたデータや考察が示されました。

発表を聞く側の生徒にとっても、他のゼミの探究内容を知ることによって新たな視点やヒントを得ることができ、今後の探究をより深めていく良いきっかけとなりました。

また当日は、神戸松蔭大学の待田先生にご来校いただき、講評をいただきました。それぞれの発表の良かった点に加え、今後どのように探究を発展させていくとよいか、探究活動において大切な視点などを、分かりやすくアドバイスしていただきました。

今回、最優秀賞に選ばれたのは、近隣小学校との連携や授業実践を通して活動を行ってきた教育実践探究ゼミです。このゼミは、理数探究の生物ゼミとともに、1月23日に本校で行われる、総合学科発表会でステージ発表を行う予定です。また、それ以外のゼミについても、総合学科発表会では1年生に向けた発表に挑戦します。

年内の授業は一区切りとなりますが、探究活動はここからさらに深まっていきます。今回の中間報告会で得た気づきや課題を生かし、それぞれの探究がどのように発展していくのか、今後の取り組みが楽しみです。